

第4回定例協議会及び第6回専門委員会において委員の皆様からいただいた御意見について

(1) 計画全般

No.	会議※	御意見の内容	御意見に対する回答
1	定例	「子どもや若者」、「こども・若者」等書きぶりが統一されていないので整理すべき。	子どもと若者を一体として捉える際には、「子ども・若者」として記載します。
2	定例	子どもとは？若者とは？計画の対象とは？がわかりづらい。 ⇒施策の対象は明確にすべき。表現も統一する必要あり。	「子ども・若者総合計画」においては、「子ども」で統一します。関係法令等における呼称については、計画の基本的な考え方（資料2）として整理します。
3	専委	「地域保健福祉計画」と「子ども・若者総合計画」の位置づけの違いは。	区の関連計画との関係について、計画の基本的な考え方として整理します。
4	専委	12月に予定している意見聴取は「みらいとしまミーティング」の活用を考えているとのことであるが、本会議でも議題とできるとよい。	意見聴取のあり方については、区内部で調整中。適宜、専門委員会等を通じて情報を共有させていただくとともに、ご意見をいただきたいと考えています。

※会議は、「定例」は定例協議会を、「専委」は専門委員会を指す。

(2) 計画の進捗を測る指標について

No.	会議※	御意見の内容	御意見に対する回答
1	専委	量的な調査により全体的な傾向を把握するものである。概ね向上していることが確認できる。一方で、5, 14, 23のように低下しているものもある。マイナス面を答えた子どもたちをしっかりと受けとめていく必要がある。	
2	専委	「指標⑤：子どもが自主的・主体的に地域や活動に参加できる機会が「どちらかというところある」を回答した区民の割合（18歳以上の区民）」の下げ幅が大きい。これは、「参加したい気持ちがあるが、機会がない」のか、「気持ちがないから機会がない」のかによって、捉え方が異なるのでは。	定例協議会の場においてご意見をいただいたとおり、コロナ禍による地域活動縮小の影響が少なからずあるかと考えます。委員から今後は数値上昇すると思われるとお言葉をいただいていることも踏まえ、次期計画においても引き続き指標として設定していきたいと考えています。
3	専委	「指標⑭：子育てが楽しいと感じることの方が多いと答えた保護者の割合」	意識調査における保護者の自由記述においては、子育て環境が充実し、子育てしやすくなってきているといった声も挙げられています。今年度からは子ども家庭センター機能に基づく新たな子育て支援サービスもスタートしました。次期計画においても展開する事業の状況をみながら引き続き、同じ指標を継続していきたいと考えています（参考資料1）。

4	専委	「指標②：自分のことが「好き」と回答した若者の割合」について、この結果をどのように捉えたらよいのか。この設問を指標としてよいのか、ということも考えていく必要がある。	自己肯定感は、自分を取り巻く他者との豊かな人間関係を築けると捉えており、区基本計画においても主要施策の達成を図る指標として設定しているところです。そのため、本指標を継続していきたいと考えています。
5	専委	「指標⑪：困ったり悩んだりしたときに相談窓口を回答したくないと回答した子どもの割合」が大きく減少している要因は、相談窓口の強化によるものとのことであるが、実際に相談数がどのように増えたのか見せられるとよいと思う。	豊島区の子どもの相談先としては、意識調査 p175 に整理していますが、うち、相談の性質上相談件数等の扱いに配慮が必要となる事業を除き、いずれも計画に位置付けて数値目標を設定し順調に推移しています。当日事務局からご案内した「子どもの相談啓発キャラクターを活用した子ども相談窓口の強化」施策については、参考資料 2 のとおりです。
6	専委	全体的に「子どもの話を聞いているか」という設問が多い。次期計画では「反映する」の視点が大事であると思う。	子ども・若者の意見表明・参加の促進、施策への反映について（資料 3）によりご説明をいたします。
7	専委	『指標⑬：学校で自分の意見を「言えていない」と回答した子どもの割合』と『指標⑭：学校で何かを決める時、先生が意見を聞いてくれていると子どもが思う割合』を連動させて考えられるとよい。	指標⑬と指標⑭に相関関係があるのかデータ分析をいたしましたが、一定程度の相関は見られませんでした。しかし、指標として一体的に捉える必要性を踏まえて、次期計画においても同様の指標としたいと考えております。

(3) 新たな計画の施策体系

No.	会議※	御意見の内容	御意見に対する回答
1	専委	I「尊重」について、尊重はあって当たり前のもの。ワントーンあげたい。	議事(3)資料 5 によりご説明します。
2	専委	II「受け止め」の後には反映させるといった意味合いの言葉がほしい	
3	専委	IVの「強力」とは？「支える」は営みを支えると理解するのか。	
4	専委	主語を「子育て家庭」といった当事者にしたらどうか。	
5	専委	尊重→どう実現していく→どう反映させていく、という流れで区として何をどのように実現したいのかが見えるように。	
6	専委	海外ルーツの子ども・若者が多い自治体。「すべての」というのであれば、インクルージョンやダイバーシティの考えがもう少しあってもよいと思う。	
7	専委 定例	「ぬくもり」とは、非常に抽象的な概念（安心・幸せ？）。なぜこの言葉なのか？どのようにイメージしたらよいのか。	
8	専委	「曖昧」、「ごまかす」のではなく、明確な意思を基礎自治体としてみせてほしい。	